

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

地理歴史科 科目 世界の歩き方

教科： 地理歴史科 科目： 世界の歩き方 単位数： 2 単位  
 対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組  
 教科担当者： ( A～F組：渡邊 )  
 使用教科書： ( 高等学校 新地理総合 (帝国書院) / 標準高等地図 (帝国書院) )  
 教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

科目 世界の歩き方 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理の基礎的知識を身に付け、外国における生活文化の多様性を理解することができる。	地理的知識をもとに、身近な生活や世界各地で起きている事象と結び付け、各自の価値観に則り、自身の考えを表現することが出来るようになる。	人類が直面している世界的な課題について、主体的に調査して自らの考えを構築する姿勢を身に付けていく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	アメリカ合衆国・カナダ 【知識及び技能】 アメリカ合衆国とカナダの建国の歴史から、工業の発達と地理的な関係や、生活・文化については、地形や気候との関わりを身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムを活用して、地域を多面的に捉えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報を用いて、よりよい社会の実現を主体的に追究する姿勢を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 地球上における様々な課題に対して、生徒が主体的な考えをもち、文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報における資料を、自らファイリングする。	○	○	○	5
	南アメリカ 【知識及び技能】 南アメリカの生活・文化について、地形や気候との関わりを踏まえながら考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の立場などを多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 日本から見た世界各国の位置や、世界から見た日本の立場などについて、考察し文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報における資料を、自らファイリングする。	○	○	○	6
	オセアニア 【知識及び技能】 オセアニアの生活・文化について、地形や気候との関わりを踏まえながら考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、世界的な課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 世界各国の多様な文化を理解し、異なる生活様式を創り出す地形について、また地形の違いによる世界的課題について考察し、文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 文化に関する資料を自らファイリングする。	○	○	○	11

